

第 1 期高知県食品ロス削減推進計画の達成目標に対する現状

第 1 期高知県食品ロス削減推進計画の達成目標

- ①県内の食品ロス発生量を 4 年間で現状より 5.2%削減する。
- ②食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和 7（2025）年度までに 90%以上にする。
- ③食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和 7（2025）年度までに 3.4%以上にする。

目標①県内の食品ロス発生量を 4 年間で現状より 5.2%削減する。→令和 6 年度に達成（▲27.7%）

- ・ 目標削減量▲1,082tに対して▲4,682t
- ・ 一人一日当たりの食品ロス量を全国と比較すると▲42.4g（61.0g-103.4g）
- ・ 全国は家庭系食品ロス量と事業系食品ロス量の割合が半々であるのに対し、本県は家庭系食品ロス量の割合が大きい（家庭系61.8%、事業系38.2%）

〈目標値に対する昨年度実績〉

	令和 7 年度の目標値（A） （5.2%削減時） （20,817t×5.2%=1,082t） （20,817t-1,082t=19,735t）		本県（B） 家庭系：令和 6 年度 （令和 4 年度推計） 事業系：令和 4 年度		目標値に対する 食品ロス削減量（C） （A）－（B）		目標値に対する 食品ロス削減率（D） （C）／（A）	
	発生量（t）	一人一日 当たり（g）	発生量（t）	一人一日 当たり（g）	削減量（t）	一人一日 当たり（g）	削減率	一人一日 当たり
家庭系	11,983	47.6	9,301	37.7	2,682	9.9	22.4%	20.8%
事業系	7,752	30.8	5,752	23.3	2,000	7.5	25.8%	24.4%
計	19,735	78.4	15,053	61.0	4,682	17.4	23.7%	22.2%

〈本県の実績推移〉

			令和 3 年度 （令和元～2 年度 推計）	令和 4 年度 （令和 2 年度推計）	令和 5 年度 （令和 3 年度推計）	令和 6 年度 （令和 4 年度推計）	3 年間（R4年度～ R6年度）における 食品ロス削減率
県	家庭系	発生量（t）	12,640	20,984	－	9,301	26.4%
		一人一日 当たり（g）	50.2	83.1	－	37.7	24.9%
	事業系	発生量（t）	8,177	7,780	7,267	5,752	29.7%
		一人一日 当たり（g）	32.5	30.9	29.1	23.3	28.3%
	計	発生量（t）	20,817	28,764	－	15,053	27.7%
		一人一日 当たり（g）	82.7	114.0	－	61.0	26.2%

〈全国の実績推移〉

			令和 3 年度 （令和元年度推計）	令和 4 年度 （令和 2 年度推計）	令和 5 年度 （令和 3 年度推計）	令和 6 年度 （令和 4 年度推計）
全国	家庭系	発生量（t）	2,610,000	2,470,000	2,440,000	2,360,000
		一人一日 当たり（g）	56.7	53.6	53.2	51.7
	事業系	発生量（t）	3,090,000	2,750,000	2,790,000	2,360,000
		一人一日 当たり（g）	67.1	59.7	60.8	51.7
	計	発生量（t）	5,700,000	5,220,000	5,230,000	4,720,000
		一人一日 当たり（g）	123.8	113.4	114.0	103.4

本県：家庭系 組成調査結果等に基づく推計値

事業系 食品リサイクル法による定期報告等に基づく推計値

国：家庭系・事業系とも農林水産省・環境省公表の推計値

目標②食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7（2025）年度までに90%以上にする。→未達成（令和6年度：88.6%）

- ・令和3年度調査以降、目標を達成したのは令和4年度のみ。
- ・取組内容で多いのは「賞味期限を過ぎててもすぐに捨てずに、自分で食べられるか判断する」「残さずに食べる」「冷凍保存を活用する」（令和6年度調査結果）。
- ・特に、食品ロス問題を認知せずに削減の取組をしている県民や、食品ロス問題を認知していても取組をしていない県民に対して、認知度向上、削減に寄与する行動変容を目的とした周知啓発が必要。
- ・食品ロス問題を認知し、削減に取り組む県民の割合は、全国に比べて高い。

目標値に対する実績推移

	令和7年度 目標値	令和3年度 調査	令和4年度 調査	令和5年度 調査	令和6年度 調査
食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合	90%以上	88.7%	90.5% (対前年度 +1.8%)	86.2% (対前年度 ▲4.3%)	88.6% (対前年度 +2.4%)

令和3・4年度：県民世論調査結果

令和5・6年度：県民意識調査（県民生活課）結果

〈参考：国の実績推移〉

	国の目標値	令和3年度 調査	令和4年度 調査	令和5年度 調査	令和6年度 調査
食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む国民の割合	80.0%	78.3%	76.9% (対前年度 ▲1.4%)	76.7% (対前年度 ▲0.2%)	74.9% (対前年度 ▲1.8%)

消費者の意識に関する調査（消費者庁）結果

目標③食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7（2025）年度までに3.4%以上にする。→未達成（令和6年度：2.0%）

- ・目標を達成した年度なし。
- ・「フードバンク」「フードドライブ活動」の認知度がまだまだ低い（両方の認知度21.1%、令和6年度調査結果）。
- ・寄附の妨げとなっている理由の上位は、「寄附先を知らない」「取組自体を知らなかった」「持って行く手間がかかり面倒」（令和6年度調査結果）。
- ・今後も県民への幅広い啓発とともに、寄附受付先の拡充等寄附に取り組みやすい環境整備が必要。

	令和7年度 目標値	令和3年度 調査	令和4年度 調査	令和5年度 調査	令和6年度 調査
食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合	3.4%以上	1.7%	2.0% (対前年度 +0.3%)	1.5% (対前年度 ▲0.5%)	2.0% (対前年度 +0.5%)

令和3・4年度：県民世論調査結果

令和5・6年度：県民意識調査（県民生活課）結果